

6501

固定式標準抵抗器

HR-5

仕様及び取扱説明書

第 3 版

本器を末永くご愛用いただくために、ご使用前に
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しい方法で
ご使用下さい。

尚、この取扱説明書は、必要なときにいつでも取り
出せるように大切に保存して下さい。

株式会社 ムサシインテック

 MUSASHI

1. 総 則

1.1 適用範囲

この仕様書は、HR-5形標準抵抗器の製作納入について規定します。

1.2 使用目的

この標準抵抗器は絶縁抵抗計及び接地抵抗測定器の目盛校正試験に使用するものであり、簡単且つ、便利なものとします。

1.3 抵抗範囲

本器の抵抗値は、絶縁抵抗計用として 0, 0.05, 0.1, 0.2, 0.5, 1, 2, 5, 10, 20, 50, 100 MΩの12点を、接地抵抗測定器用として 0, 5, 10, 50, 100, 500, 1000 Ωの7点を設けるものとします。

1.4 表 示

本器には、次に示す事項をケース上面に取り付けた銘板及びパネル面に表示します。

1. 名 称
2. 抵 抗 値
3. 製造者名またはその略号
4. 製造番号
5. 製 造 年
6. 使用上の注意事項（使用方法）

2. 構 造

2.1 外観構造

アルミトランクケース（蓋内側にポケット付）

2.2 外形寸法

315mm (W) × 228mm (D) × 112mm (H)

2.3 重 量

約 3.0 kg

2.4 パネル

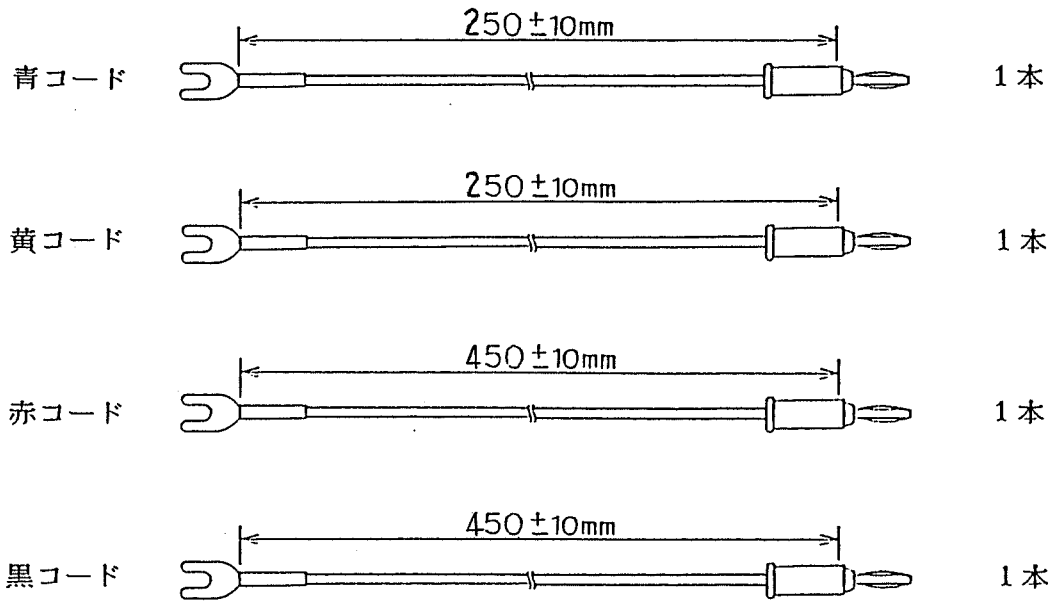
材質：アルミ 厚さ：2mm 表面：シルバーアルマイト処理

2.5 抵抗素子

本器の絶縁抵抗計用の抵抗素子には、経年変化の少ない精密級高電圧用固定抵抗を用い、接地抵抗測定器用の抵抗素子には、精密級巻線抵抗器を用いるものとします。

2.6 付属品

本器は測定に便利な下記の試験コードを付属します。



(注) コードの長さは、リードワイヤーの長さとしてします。

3. 許容差

3.1 抵抗値の許容差

本器の抵抗値の許容差は、標準使用試験状態において試験し、下記の通りとします。

接地抵抗測定用抵抗値		絶縁抵抗計用抵抗値	
抵抗値	許容差	抵抗値	許容差
(Ω)	(%)	(MΩ)	(%)
0		0	
5	±1	0.05	±1
10	±1	0.1	±1
50	±1	0.2	±1
100	±1	0.5	±1
500	±1	1	±1
1000	±1	2	±1
		5	±1
		10	±1
		20	±1
		50	±1
		100	±1

4. 試 験

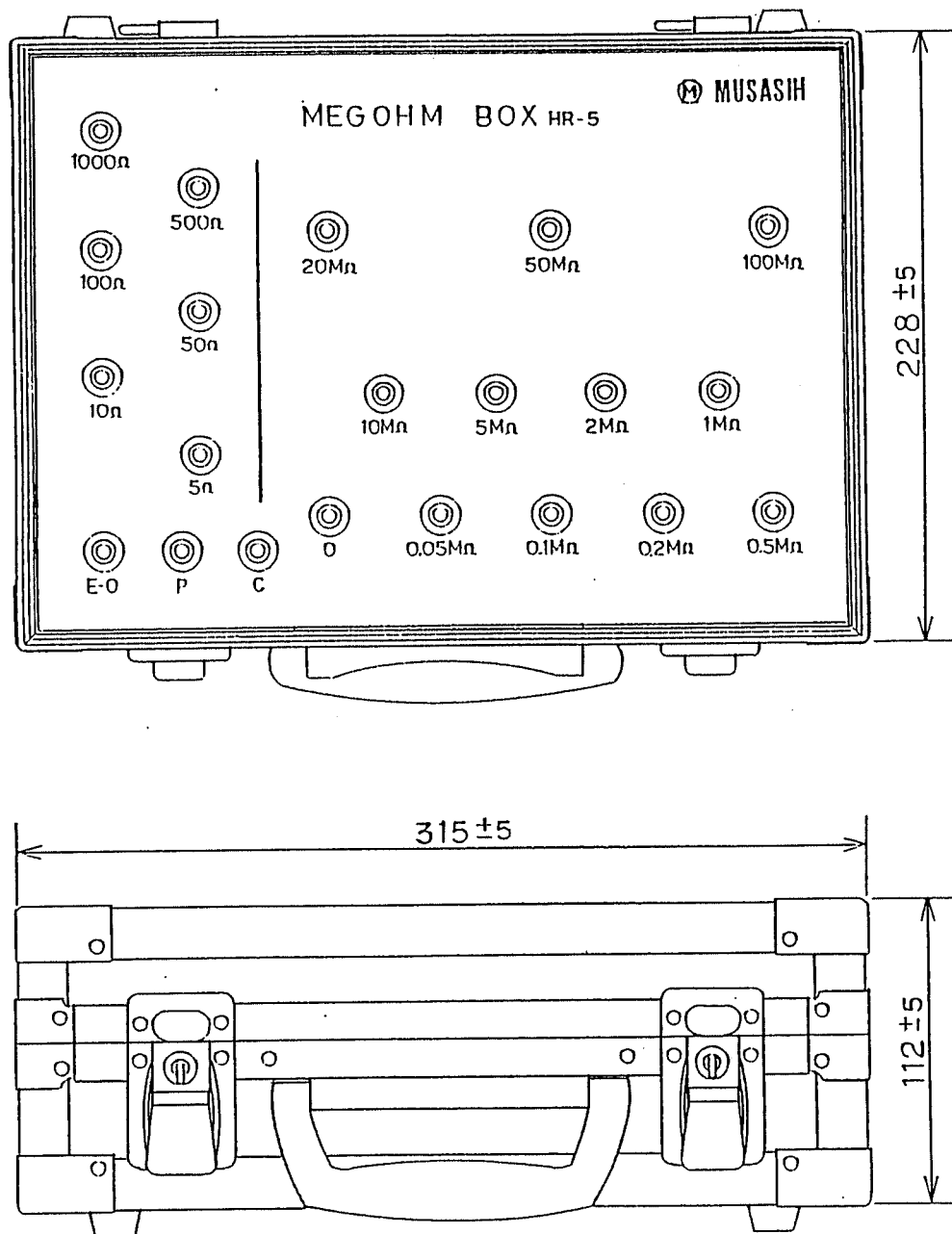
4.1 許容差の試験方法

本器の許容差は、標準使用状態に近い状態で各抵抗端子間を精密級ブリッジに接続し、試験します。

4.2 標準使用状態

本器の標準使用状態とは、JIS Z 8730 に定められた標準温湿状態をいい、標準温度 23°C 標準湿度 65% の状態をいいます。

5. 外 観 図



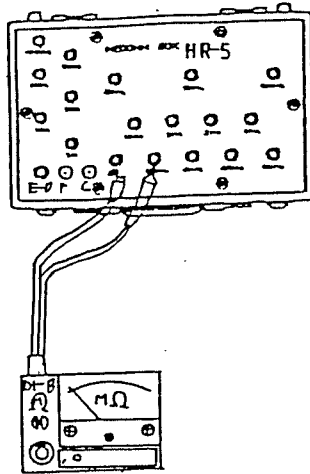
6. 使用方法

7102-001ST004-5/6

6.1 絶縁抵抗計の校正チェック法

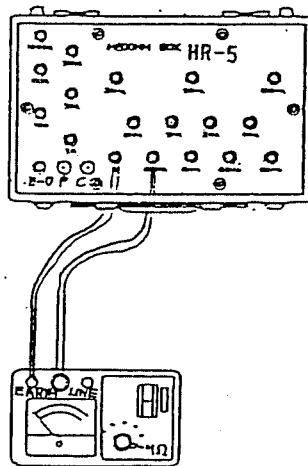
〈コンセント使用の場合〉

コードのクリップ側 (EARTH) を 0 端子にプローブ付テスト棒 (LINE) を 0~100M Ω までのいずれかの端子に接続して判定します。



〈端子使用の場合〉

付属コードを用いて図のように、絶縁抵抗計の EARTH 端子と本器の 0 端子、絶縁抵抗計の LINE 端子と本器の 0~100M Ω までのいずれかの端子に接続して判定します。



6.2 接地抵抗計の校正チェック法

付属コードを用いて、本器と接地抵抗計とを図のように接続し、E端子のコードを 0~ 1000 Ω までのいずれかの端子に接続して判定します。

